

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>インパルス・ソリッド</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.490</b>	△RG <b>0.050</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：インパルス・ソリッド**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

番

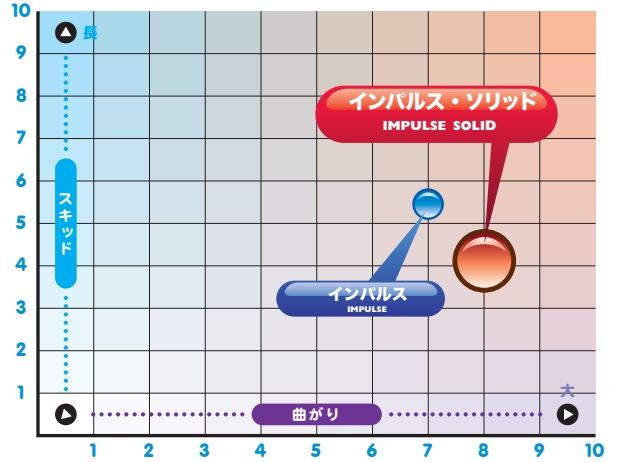
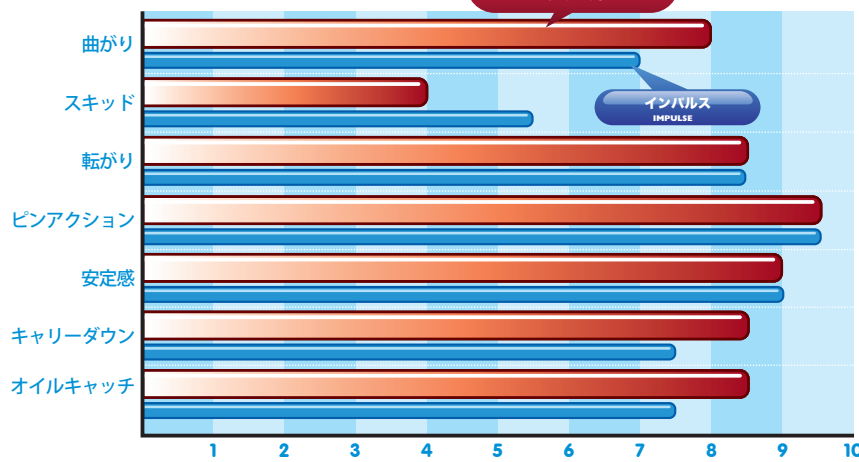
**比較対照ボール：インパルス**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

番



### ボールの評価

HP (High performance) ラインでしか搭載していなかったHST (Hyper Shock Technology) をUMP (Upper Mid Performance) ラインでも搭載することが可能になったのが、2016年10月発売のIMPULSEでした。Reflex Hybrid CoverstockとImpulse Coreの組み合わせはミディアムコンディション全般で活躍し、特にオイルの濃淡の段差が激しく感じた時、IMPULSEはHSTとの相乗効果で勝負できるボールとして位置づけられました。今回のIMPULSE SOLIDはSWERVEで使用したReflex Solidよりもさらにキャッチを強めたSolid素材で同じBox Finishでも純粋にキャッチと曲がりの差を実感できるほど、カタログ表記にある”Strong Mid Lane and Backend”という手前からの強いキャッチとその曲がりをピンヒットまで持続する”Continuous Hook” (持続的な曲がり) を感じて頂けるでしょう。

さまざまなボールとテストングしてみると、このIMPULSE SOLIDのキャッチの強さを格段に感じます。特に手前のキャッチは厚いオイルでも弾かれることのない強さがあり、これだけの強さがあると曲がりに必要な”ブレーキのかかり”を感じて頂けるでしょう。スピードの速いタイプとボールの曲がりが少なく感じるボウラーの殆どが、どれだけ曲がりに必要なブレーキ(減速)をボールで確保できるかが鍵になります。このIMPULSE SOLIDであればしっかりと減速でき、なおかつHSTでピンアクションまでをカバーしてくれると思います。私は価格帯とパフォーマンス、ピンアクションまでトータルに精査した場合、購入の選択肢に十分当てはまると思います。オイルの多いコンディションで使用する事を考えれば、派手に動くというよりはどれだけ曲がり始めが安定して曲がるかだと思います。そういう位置付けでIMPULSE SOLIDをご使用ください。

### 特記事項

**シンプルながら大きなネジレを発生するImpulse Coreと強化されたReflex Solid Coverstock. 何よりHSTでピンアクションをサポート致します。**